

統計月報

統計月報 令和元年8月
 公益財団法人 城北労働・福祉センター
 〒111-0021 東京都台東区日本堤2-2-11
 TEL 03(3874)8089 FAX 03(3871)2460
<http://homepage33.la.coocan.jp/>

～職業紹介事業の実績(7月)～

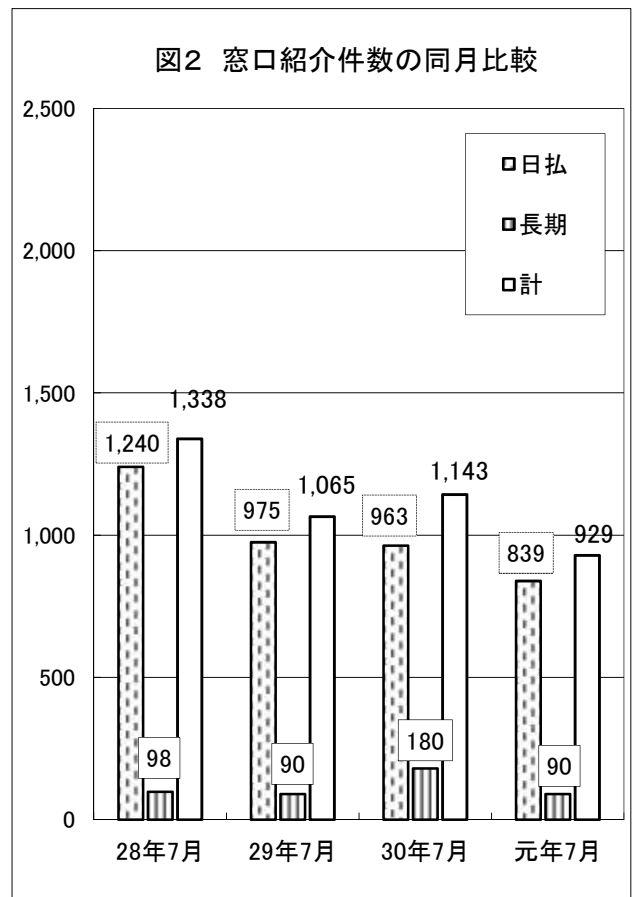
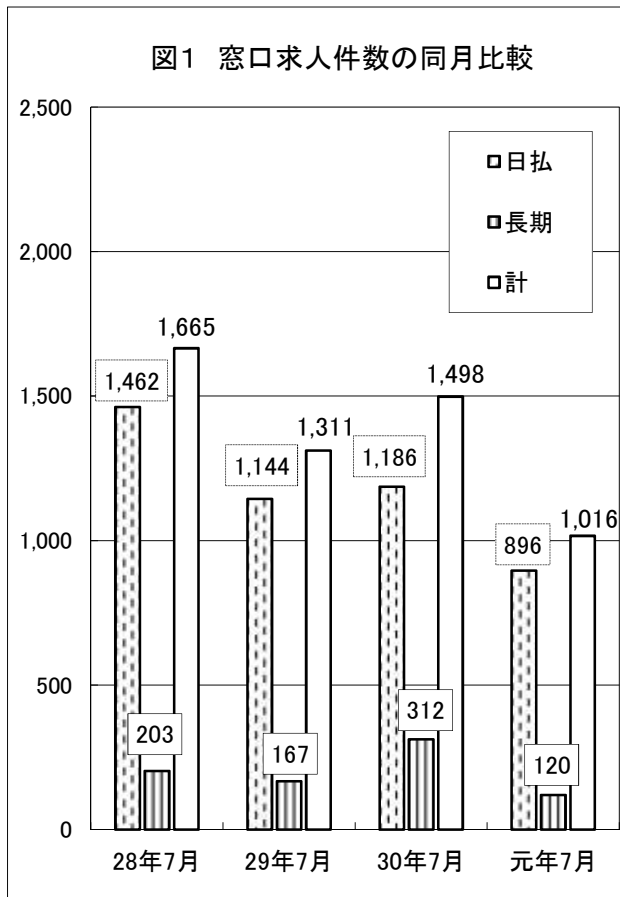
(1) センター窓口における求人件数及び紹介件数の概要

令和元年7月の職業紹介におけるセンター窓口からの求人件数及び紹介件数は、図1及び図2のとおり。

窓口求人件数は1,016件(前年同月1,498件)、482件の減少(△32.2%)であった。

窓口紹介件数は929件(前年同月1,143件)、214件の減少(△18.7%)であった。

窓口紹介件数を雇用期間区分別にみると、日払は前年同月比124件の減少(△12.9%)、長期は90件の減少(△50.0%)であった。



窓口求人	28年7月	29年7月	30年7月	元年7月	前年比	増減率(%)
日払	1,462	1,144	1,186	896	△290	△24.5
長期	203	167	312	120	△192	△61.5
計	1,665	1,311	1,498	1,016	△482	△32.2

窓口紹介	28年7月	29年7月	30年7月	元年7月	前年比	増減率(%)
日払	1,240	975	963	839	△124	△12.9
長期	98	90	180	90	△90	△50.0
計	1,338	1,065	1,143	929	△214	△18.7

*「長期」は、求人・紹介ともに延べ数(人数×日数)である

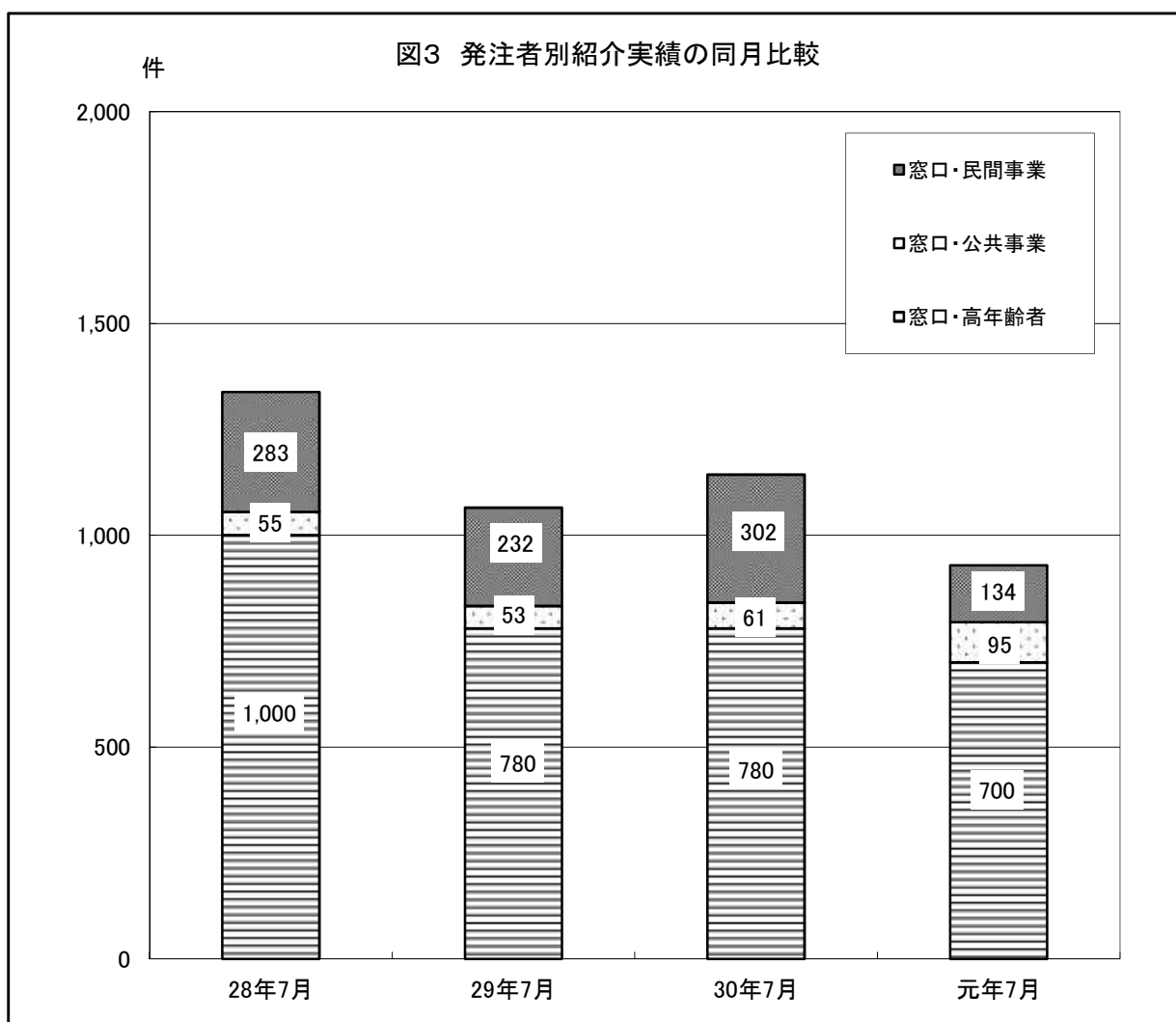
(2) 紹介区分別

センター窓口からの紹介実績は、紹介区分（仕事の内容（＝発注者）別）で以下のように分けられる。

- ①民間事業
- ②公共事業（特別就労対策事業以外で、都や区など公共団体が発注している清掃等の仕事）
- ③東京都の「高年齢者特別就労対策事業」（＝輪番紹介）

図3より、センター窓口からの紹介実績をみると、

- ①「民間事業」は168件の減少（前年同月比△55.6%、日払は48件の減少、長期は120券の減少）
 - ②「公共事業」は34件の増加（前年同月比55.7%）
 - ③「高年齢者特別就労」は80件の減少（前年同月比△10.3%）
- 窓口計では、214件の減少（前年同月比△18.7%）となった。



	28年7月	29年7月	30年7月	元年7月	前年比	増減率(%)
窓ロ・民間事業	283	232	302	134	△168	△55.6
窓ロ・公共事業	55	53	61	95	34	55.7
窓ロ・高年齢者	1,000	780	780	700	△80	△10.3
窓口計	1,338	1,065	1,143	929	△214	△18.7

(3) 紹介実員数

ここでは紹介の延べ件数ではなく、『何人』に仕事を紹介したかという観点から、紹介実績の動向をみる。図4のとおり令和元年7月の紹介実員数(=窓口計)は図4のとおり842人であった。(前年同月969人)

民間事業では、日私の紹介実員数は74人(前年同月122人)と長期は2人(前年6人)であった。また、窓口紹介実績の一日平均は、3.5人であった。

図4 紹介実員数の同月比較

		30年7月	元年7月	前年同月比増減数	増減率(%)
窓 口	民間事業	128	76	△52	△40.6
	公共事業	61	66	5	8.2
	高年齢者特別就労	780	700	△80	△10.3
紹介実員数(窓口計)		969	842	△127	△13.1

～生活相談・応急援護事業の実績(7月)～

(1) 受付総数・相談件数(一日当たり受付数・相談数)

令和元年7月の相談受付件数(=相談数(計))は図5のとおり280件で、30年7月に比べ7件の減少(△1.0件/1日平均)となり、115か月連続のマイナスとなった。

新規来所件数は23件であった。

図5 受付・相談の月総数及び一日平均の前年同月比較

		月総数				1日平均		
		30年7月	元年7月	増減数	増減率(%)	30年7月	元年7月	増減数
受付		282	272	△10	△3.5	13.4	12.4	△1.0
新規		30	23	△7	△23.3	1.4	1.0	△0.4
内 訳	医療相談	2	3	1	50.0	0.1	0.1	0.0
	生活保護等	0	3	3	0.0	0.0	0.1	0.1
	労働相談	8	10	2	25.0	0.4	0.5	0.1
	応急援護	60	81	21	35.0	2.9	3.7	0.8
	その他相談	217	183	△34	△15.7	10.3	8.3	△2.0
相談数(計)		287	280	△7	△2.4	13.7	12.7	△1.0

* 来所者が1回の受付で複数の相談を行う場合があるため、受付件数と相談件数は一致しない

(2) 応急援護の内訳

図6-1及び図6-2のとおり、宿泊相談は月合計で前年同月比14件の増加(50.0%)、給食相談は2件の減少(△10.5%)、物品相談は8件の増加(72.7%)、交通費相談は1件の減少(△50.0)となった。

なお、7月の開所日数は、本年度は22日間、30年度は21日間、29年度と28年度は20日間であった。

図6-1 応急援護数(内訳)の同月比較

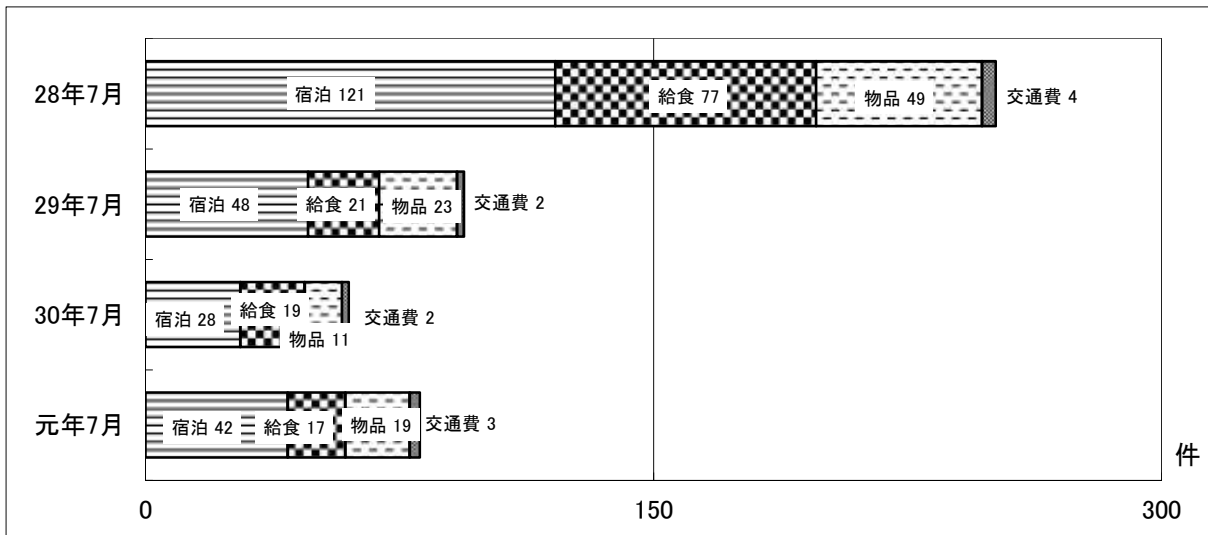


図6-2 応急援護数一日平均(内訳)の同月比較

